

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 永大化工株式会社

コード番号 7877 URL <http://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 服部憲治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 浦 義則

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,014	5.6	102	168.2	116	169.7	111	274.6
26年3月期第2四半期	2,853	9.4	38	△53.9	43	△47.4	29	△61.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 92百万円 (△42.5%) 26年3月期第2四半期 160百万円 (112.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	17.62	—
26年3月期第2四半期	4.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	7,698	6,010	78.1	948.88
26年3月期	7,876	5,957	75.6	940.56

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 6,010百万円 26年3月期 5,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年3月期	—	0.00	—	8.00	円 銭	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	円 銭	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,250	△1.3	205	21.2	210	1.3	195	1.7	30.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する情報(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	7,300,000 株	26年3月期	7,300,000 株
27年3月期2Q	965,737 株	26年3月期	965,737 株
27年3月期2Q	6,334,263 株	26年3月期2Q	6,334,526 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策を背景に企業業績や雇用情勢の回復から国内経済は緩やかな回復基調が続いておりますが、個人消費は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要による反動減からの持ち直しの動きが鈍く、夏場の天候不順なども影響し足踏み状態が続いております。また、米国経済は堅調な景気拡大を維持しておりますが、円安による原材料やエネルギーコストの高騰などの不安材料も抱えており、中国をはじめ新興国経済では景気の停滞感など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、中長期的な経営戦略として徹底した体質改革及びコスト競争力のある生産調達ルートの確立と商品開発力の強化に注力するとともに、国内外において顧客ニーズに対応した商品の提案を推進し、特に海外ではベトナム及び中国の子会社を拠点とした積極的なビジネス展開を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高3,014百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益102百万円（前年同期比168.2%増）、経常利益116百万円（前年同期比169.7%増）、四半期純利益111百万円（前年同期比274.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [自動車用品関連]

自動車用品関連につきましては、国内の自動車産業において、4月から6月までは消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の受注残などに支えられ、夏場以降は前年割れの状態が続いておりますが、当社OEMフロアーマットの売上は、ハイブリッド車等の人気車種の販売が堅調に推移したことから、売上高2,089百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益88百万円（前年同期比212.0%増）となりました。

#### [産業資材関連]

産業資材関連につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要による反動減があったものの、冷蔵庫・エアコン等の家電用部材及び半導体などの電子部品向け保護用部材マガジンスティック等が好調に推移したことから、売上高924百万円（前年同期比4.7%増）営業利益13百万円（前年同期比39.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### <資産の部>

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は7,698百万円となり、前連結会計年度末と比較して177百万円の減少となりました。

流動資産の合計は4,730百万円となり、前連結会計年度末と比較して159百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加118百万円、受取手形及び売掛金の減少214百万円、有価証券の減少141百万円、たな卸資産の増加86百万円によるものであります。

固定資産の合計は2,967百万円となり、前連結会計年度末と比較して18百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の減少34百万円、投資その他の資産の増加29百万円によるものであります。

#### <負債の部>

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は1,688百万円となり、前連結会計年度末と比較して230百万円の減少となりました。

流動負債の合計は1,184百万円となり、前連結会計年度末と比較して209百万円の減少となりました。その主な要因は、電子記録債務の減少144百万円、賞与引当金の減少35百万円によるものであります。

固定負債の合計は503百万円となり、前連結会計年度末と比較して20百万円の減少となりました。その主な要因は、退職給付に係る負債の減少21百万円によるものであります。

#### <純資産の部>

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は6,010百万円となり、前連結会計年度末と比較して52百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加71百万円、繰延ヘッジ損益の増加14百万円、為替換算調整勘定の減少38百万円によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,604百万円と前連結会計年度末と比較して23百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

前第2四半期連結累計期間と比較して税金等調整前四半期純利益は74百万円の増益となり、仕入債務の減少198百万円などがあった一方で、売上債権の減少443百万円などが主な要因となり、当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の収入は93百万円となり前第2四半期連結累計期間と比較して324百万円の収入増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出30百万円、その他の支出19百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は58百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して6百万円の支出減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払額50百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は59百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して42百万円の支出減少となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が10,932千円減少し、利益剰余金が10,932千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,485,800	1,604,082
受取手形及び売掛金	1,568,718	1,354,259
有価証券	141,660	-
商品及び製品	685,486	779,620
仕掛品	121,542	130,255
原材料及び貯蔵品	648,352	632,467
繰延税金資産	88,170	79,928
未収入金	82,125	74,223
その他	68,229	75,930
流動資産合計	4,890,085	4,730,767
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	729,722	696,849
土地	1,544,809	1,544,809
その他(純額)	207,619	206,322
有形固定資産合計	2,482,151	2,447,980
無形固定資産		
土地使用権	204,365	192,877
その他	21,551	19,173
無形固定資産合計	225,916	212,050
投資その他の資産		
投資その他の資産	278,732	308,421
貸倒引当金	△661	△661
投資その他の資産合計	278,070	307,759
固定資産合計	2,986,138	2,967,791
資産合計	7,876,224	7,698,558
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	480,545	465,393
電子記録債務	583,698	439,073
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	16,800	16,400
未払法人税等	31,744	16,170
賞与引当金	92,715	57,233
役員賞与引当金	12,000	-
その他	126,237	140,045
流動負債合計	1,393,740	1,184,316
固定負債		
長期借入金	8,000	-
繰延税金負債	14,070	19,086
再評価に係る繰延税金負債	326,740	326,740
役員退職慰労引当金	26,324	30,453
退職給付に係る負債	143,626	122,494
その他	5,981	5,006
固定負債合計	524,743	503,779
負債合計	1,918,483	1,688,096

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,203,754
利益剰余金	3,289,207	3,361,062
自己株式	△236,377	△236,377
株主資本合計	5,498,284	5,570,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,541	9,959
繰延ヘッジ損益	3,037	17,853
土地再評価差額金	431,493	431,493
為替換算調整勘定	76,297	37,683
退職給付に係る調整累計額	△60,912	△56,666
その他の包括利益累計額合計	459,456	440,322
純資産合計	5,957,740	6,010,461
負債純資産合計	7,876,224	7,698,558

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,853,416	3,014,446
売上原価	2,170,754	2,227,168
売上総利益	682,662	787,278
販売費及び一般管理費	644,538	685,021
営業利益	38,123	102,257
営業外収益		
受取利息	2,279	450
受取配当金	336	1,277
受取賃貸料	14,580	-
為替差益	-	15,629
その他	6,981	3,403
営業外収益合計	24,176	20,760
営業外費用		
支払利息	2,981	2,191
賃貸費用	12,781	-
為替差損	2,670	-
社葬関連費用	-	4,076
その他	593	35
営業外費用合計	19,025	6,303
経常利益	43,275	116,713
特別利益		
固定資産売却益	194	268
投資有価証券売却益	-	559
特別利益合計	194	827
特別損失		
固定資産処分損	956	35
特別損失合計	956	35
税金等調整前四半期純利益	42,513	117,505
法人税、住民税及び事業税	11,523	6,198
法人税等調整額	1,199	△290
法人税等合計	12,723	5,908
少数株主損益調整前四半期純利益	29,789	111,597
少数株主利益	-	-
四半期純利益	29,789	111,597

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,789	111,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,980	418
繰延ヘッジ損益	△3,220	14,816
為替換算調整勘定	116,129	△38,613
退職給付に係る調整額	-	4,245
その他の包括利益合計	130,889	△19,133
四半期包括利益	160,678	92,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,678	92,463
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	42,513	117,505
減価償却費	73,571	67,645
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,941	△34,740
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19,161	4,128
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,000	△12,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,622	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△5,954
受取利息及び受取配当金	△2,615	△1,728
支払利息	2,981	2,191
為替差損益(△は益)	△979	△2,023
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△559
有形固定資産除売却損益(△は益)	762	△232
売上債権の増減額(△は増加)	△237,765	206,155
たな卸資産の増減額(△は増加)	△97,008	△105,123
仕入債務の増減額(△は減少)	53,071	△145,888
その他の資産・負債の増減額	△18,153	24,626
小計	△217,337	114,001
利息及び配当金の受取額	3,923	2,474
利息の支払額	△2,988	△2,182
法人税等の支払額	△14,382	△20,649
営業活動によるキャッシュ・フロー	△230,784	93,644
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27,123	△30,552
有形固定資産の売却による収入	37	869
無形固定資産の取得による支出	△17,870	-
投資有価証券の取得による支出	△173	△13,675
投資有価証券の売却による収入	-	4,095
その他	△19,315	△19,134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,445	△58,398
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△63,380	△8,400
配当金の支払額	△38,007	△50,674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,387	△59,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,256	449
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△360,360	△23,379
現金及び現金同等物の期首残高	1,917,464	1,627,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,557,103	1,604,082

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,970,098	883,318	2,853,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,970,098	883,318	2,853,416
セグメント利益	28,460	9,663	38,123

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,089,784	924,662	3,014,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,089,784	924,662	3,014,446
セグメント利益	88,793	13,464	102,257

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。